

委 12-3-1

宇宙開発の現状報告

(平成 18 年 3 月 28 日～平成 18 年 4 月 4 日)

平成 18 年 4 月 5 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

3 月 30 日 (木)

- スクラムジェット燃焼器の飛行実験を実施

【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】

オーストラリアのクイーンズランド大学に委託して、JAXA が独自に研究開発を進めてきたスクラムジェット燃焼器の飛行実験をオーストラリアのウーメラ実験場において実施した。

実験は、JAXA が高温衝撃風洞による地上実験ベースで独自に研究開発を進めた改良型燃料噴射器（縦渦導入型燃料噴射器）を用いたスクラムジェット燃焼器の実飛行環境での試験データを取得し、地上実験データを評価することを目的としており、小型観測ロケットの先端にスクラムジェット燃焼器を搭載してマッハ 8 近くまで加速し、約 6 秒間燃焼試験を行い、燃焼器内の圧力分布データ等を取得する予定であった。

実験の結果、ロケットの最高高度が当初予定より約 10% 低い 290 km であることがわかり、現在、飛行状態がスクラムジェット燃焼器試験に与えた影響を解析している。

4 月 1 日 (土)

- 「未来のロケット」イラストコンテスト応募作品を納めたタイムカプセルを埋納
ペンシルロケット 50 周年記念行事『ペンシルロケットフェスティバル』（平成 17 年 8 月 19 日開催）の一環として実施した「未来のロケット」イラストコンテストの応募作品を納めたタイムカプセルを実験跡地である早稲田実業学校正門前に埋納し、記念碑を建立した。

宇宙開発に関する海外の動向

4 月 3 日 (月)

- ソユーズ、ISS とのドッキングに成功【露】

3 月 30 日 2 時 30 分（世界標準時、以下同じ）、バイコヌール宇宙基地からソユーズ FG ロケットにより打ち上げられた、第 13 次長期滞在員 2 名（米・露）と短期訪問クルー 1 名（伯）を乗せたソユーズ宇宙船は、4 月 1 日 4 時 19 分、国際宇宙ステーション（ISS）とのドッキングに成功した。この短期訪問クルー 1 名は、ブラジル初の宇宙飛行士である。第 12 次長期滞在員 2 名（約半年滞在）と短期訪問クルー 1 名は、4 月 8 日に帰還する予定。

【議事概要】

その他

「宇宙開発の現状報告」と前回の「議事要旨」が紹介され、議論なく終了した。